

日刊

産業新聞

Japan Metal Bulletin

2011年(平成23年)

10月6日

木曜日

1.8—2.1万ドル往来も欧州問題次第

ニッケル

ニッケルは当面、1万8000—2万10000ポンド往来だろう。

ごく最近まで、生産者も大手商社も2万1000—2万3000ポンドと想定していた。地金現物の荷動きは良く、ETF(上場投資信託)も活発になり、生産調整していた中国の需要も下半期には回復するとして、楽観的な見方が優勢だった。

その反面、欧米のステンレス市況は悪く、大手メーカーの再編もうわさされているほどだ。LME在庫は減少しているが相場とリンクしておらず、中国のニッケル鉄の生産量も不明。全体的に需給の判断材料は乏しい。

そこに欧州債務問題が現実化して、相場見通しは一変した。投資家はリスク回避のため現金化に動き、1万8000ポンドに暴落した。

ここが投機のターニングポイントになると思うが、欧州債務問題の火が拡大するか、終息するかの見方で相場予測は全く違ってくる。暫定救済策ができて一時的な解決を見る期間は、2万ポンド前後の往来相場か。



メタルドウ社長
藤田 國廣氏